

日本集中治療医学会感染管理委員会主催

「集中治療、救命救急領域における抗菌薬使用状況調査（多施設共同研究）」

1. 研究の対象

2017年4月1日～2021年3月31日の期間で、当院の集中治療室(ICU)に入室中に注射抗菌薬もしくは注射抗真菌薬の投与を受けられた方。（集中治療室(ICU)退室後は含まれません）

2. 研究目的・方法

<目的>

抗菌薬適正使用推進の評価の1つとして、抗菌薬使用状況調査がありますが、日本においては集中治療、救命救急領域に特化した多施設抗菌薬使用状況調査の報告がありません。特に適正使用が重要とされる集中治療、救命救急領域において抗菌薬使用状況調査を経年的に行うことにより、抗菌薬適正使用推進活動との関連を検討し、抗菌薬適正使用を推進するための指標とします。

<方法>

研究対象期間中に集中治療、救命救急領域に入室し、対象とする抗菌薬を使用した患者を対象とします。薬剤部門の払い出しデータ、レセプトデータ、電子カルテなどの実施データ等から、年度毎の各抗菌薬の使用日数(days of therapy : DOT)を調査します。併せて集中治療、救命救急領域における antimicrobial stewardship team (AST)、infection control team (ICT)の抗菌薬適正使用の活動について各施設の状況をアンケート調査します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

投与された注射抗菌薬、注射抗真菌薬の薬剤名、投与量、投与日数、等
患者背景（年齢、性別、感染症名）、重症度スコア（SOFA スコア、APACHE IIスコア等）、転帰、等

4. 外部への試料・情報の提供

個人データを含まない状態で各抗菌薬の使用日数のみが記載されたデータシートを日本集中治療医学会 感染管理委員会の研究代表者へ提出します。

5. 研究組織

日本集中治療医学会 感染管理委員会

担当理事：志馬伸朗（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 応用生命科学部門 救急集中治療医学 教授）

委員長：藤谷茂樹（聖マリアンナ医科大学救急医学集中治療部 教授）

担当委員：小林敦子（宝塚市立病院 中央検査室）

高橋佳子（兵庫医科大学病院 薬剤部）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

問い合わせ先

済生会熊本病院 電話：096-351-8000（代表）

当院研究担当者：TQM 部感染管理室 九万田 由貴江

研究組織側事務局：

日本集中治療医学会 感染管理委員会担当委員

高橋佳子（兵庫医科大学病院 薬剤部）

以上